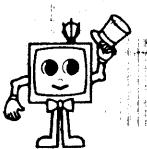


仕様

•本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
 •この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
 This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

形名	20CH-KT1
ブラウン管	20形ダークティントワイドブラウン管
画面寸法	幅40.1×高さ22.6／対角46.0 (cm) テレビの形(20形など)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外形寸法を基準とした大きさの目安です。
音声実用最大出力	3W (EIAJ)
スピーカー	5cm×9cm.....1個
電源	AC100V 50/60Hz共用
消費電力	91W (年間消費電力量 130kW·h/年) (待機時3.9W)
受信チャンネル	VHF 1ch~12ch UHF 13ch~62ch CATV (C13~C35)
端子	ビデオ1映像入力端子1個 モニター映像出力端子1個 ビデオ1音声入力端子1個 モニター音声出力端子1個 ビデオ1S1映像入力端子1個 AV-BUS II 端子1個 ビデオ2映像入力端子1個 イヤホン/録音端子1個 ビデオ2音声入力端子1個 サターン端子1個 ビデオ2S1映像入力端子1個
外形寸法	幅53.5×高さ39.0×奥行43.5 (cm)
質量	18.0kg
付属品	リモコン送信機1個 アンテナアダプター1個 使用上のご注意(別冊)1冊 単3形乾電池R6P(またはSUM-3) 2個 取扱説明書1冊 ご相談窓口一覧表1枚

ちょっとした心づかいで
テレビの安全



●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全を構なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。
ご使用中止	●故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

●購入店名などを記入しておきますと、アフターサービスのとき便利です。

購入店名 電話 ()

購入年月日 年 月 日

●万一故障などでアフターサービスをお申しつけのときは右の内容をお知らせください。

形名= (テレビ本体) 20CH-KT1
(リモコン) C-U4

症状= できるだけ詳しく
道順= 付近の目印も

◎ 株式会社 日立製作所

〒105-0003 東京都港区西新橋2-5-12
電話 (03) 3502-2111

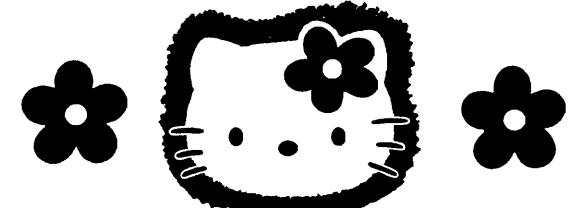
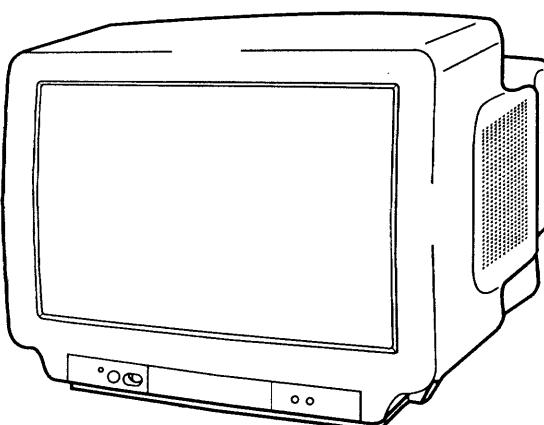
HITACHI

日立ワイドテレビ

形名

20CH-KT1

取扱説明書



Hello Kitty
© 76,98 SANRIO TOKYO,JAPAN

もくじ

ページ

はじめに	安全上のご注意について 2
お使いになる前の準備 3	
各部の名称 4	

基本の使いかた	テレビ放送を見るには 6
チャンネル/セレクトボタンの使いかた 7	
ビデオを見るには 8	
チャンネル番号などを知りたいとき 9	
音を一時的に消したいとき 9	
本体で操作するには 10	

便利な使いかた	自動的にテレビの電源を切りたいとき 11
ワイド機能の楽しみかた 12	
テレビゲームを楽しむとき 16	
映像の自動調整(AI)について 17	
映像調節をするには 18	
お好みに合わせて設定を変えたいとき 19	
他の機器との接続使用 20	
●ビデオとの接続など 20	

設置	アンテナ線の接続 24
受信設定について(チャンネル合わせなど) 26	
転倒防止について 30	

ご参考	保証とアフターサービスについて 31
故障かな?と思ったら 31	
仕様 裏表紙	

このたびは日立ワイドテレビをお求めいただき、まことにありがとうございました。

最初に 別冊の「使用上のご注意」をお読みください。本体の取り扱いは、この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。

なお、お読みになった後は、保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保管してください。

安全上のご注意について

ご使用の前にまず別冊の「使用上のご注意」をお読みになってから、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

〈ご使用のまえに〉

絵表示について…製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

（絵表示の例）



△記号は警告（注意）を促すことです。（この例は「感電注意」）



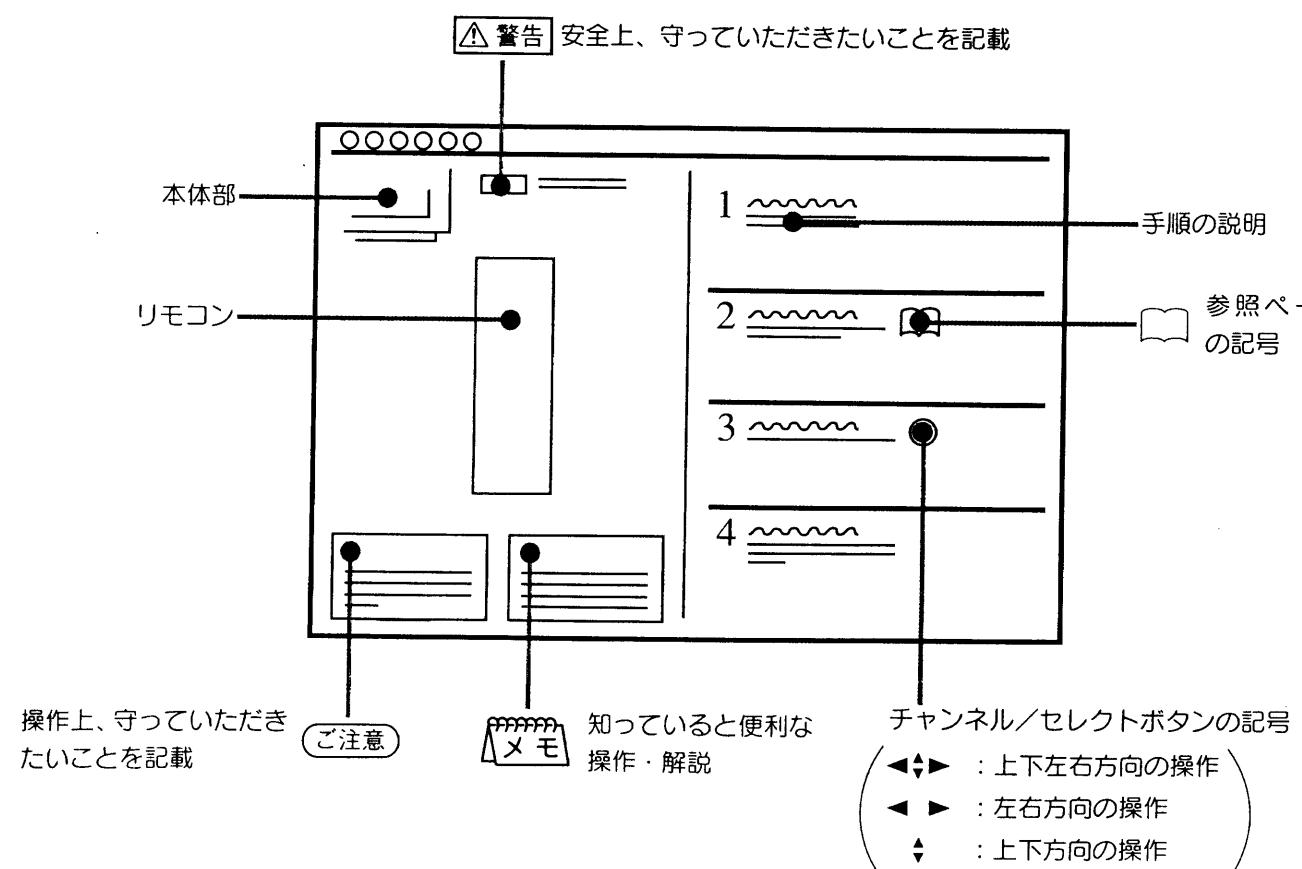
○記号は行為を禁止することです。（この例は「分解禁止」）



●記号は行為を強制することです。（この例は「電源プラグをコンセントから抜く」）

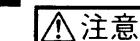
本書の見かた

違うパターンもありますが、基本的には同じ説明方法です。



お使いになる前の準備

1 アンテナ線をつなぐ [24] ~ [25]



アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

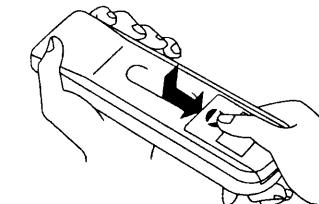
2 お手持ちの機器をつなぐ [20] ~ [23]

豊富な端子群をフルにご活用ください。

3 リモコンに乾電池を入れる

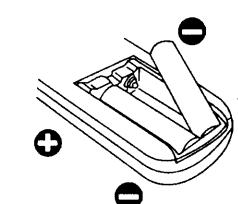
①電池ふたをはずす

電池ふたを押しながら、矢印の方向にずらします。



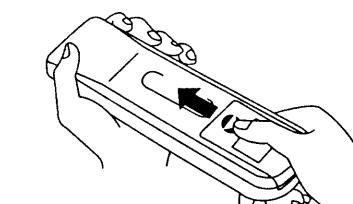
②乾電池を入れる

付属の単3形乾電池を+、-の表示どおりに入れます。



③電池ふたを閉める

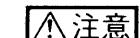
電池ふたを矢印の方向に押して戻します。



4 電源プラグをコンセントに差し込む

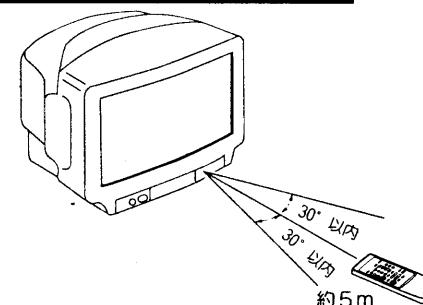


表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

リモコンの取り扱い



リモコンは、本体のリモコン受信窓の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。

ご注意 リモコンの使用上のご注意

- リモコンを落したり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの操作がにくくなったら、乾電池を交換してください。
- リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにテレビの向きを変えてください。

ご注意 ラジオをお聴きになるときのご注意

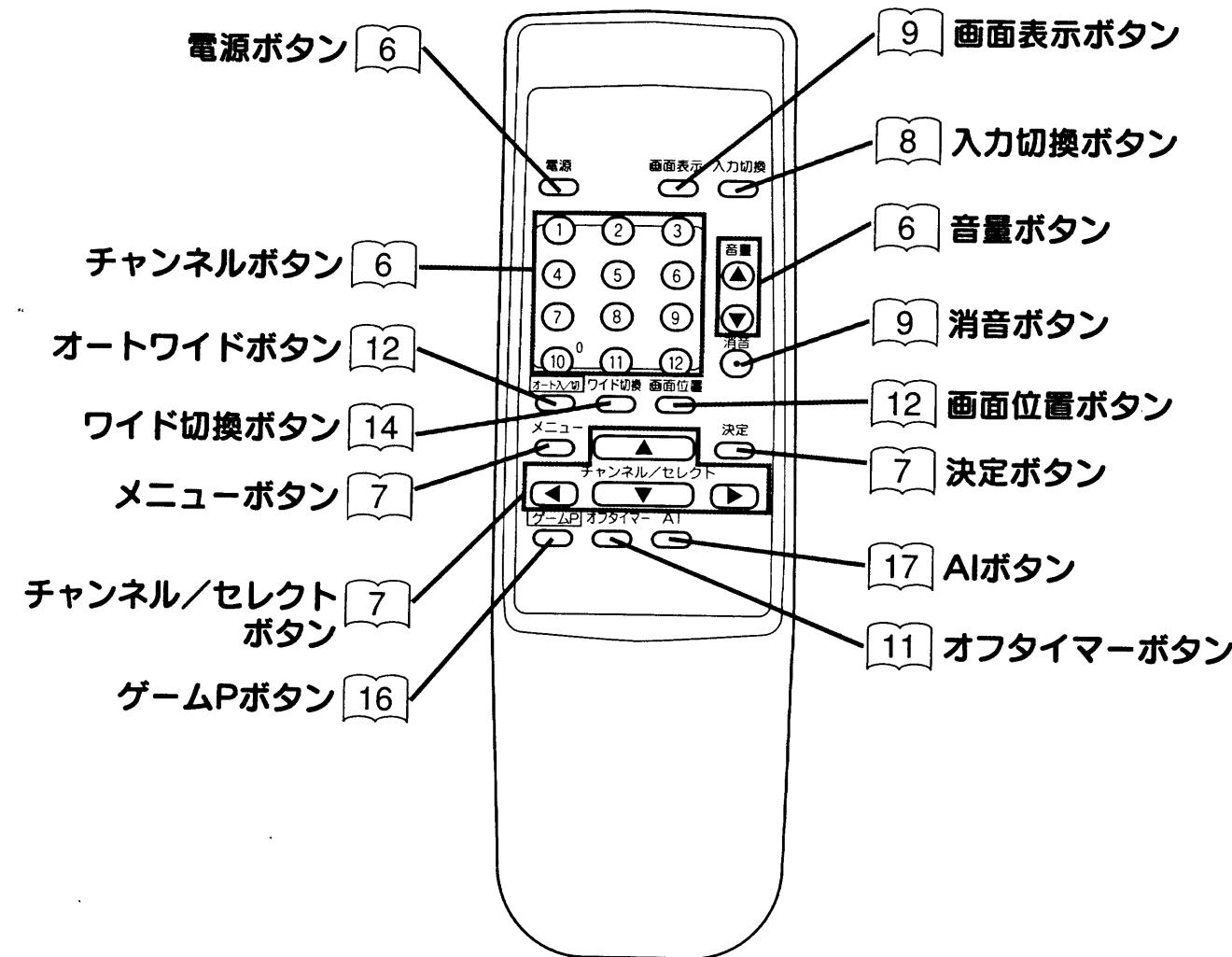
本機の近くでラジオなどを使用すると、ラジオ放送に受信障害が出ることがあります。本機から離してご使用ください。

各部の名称



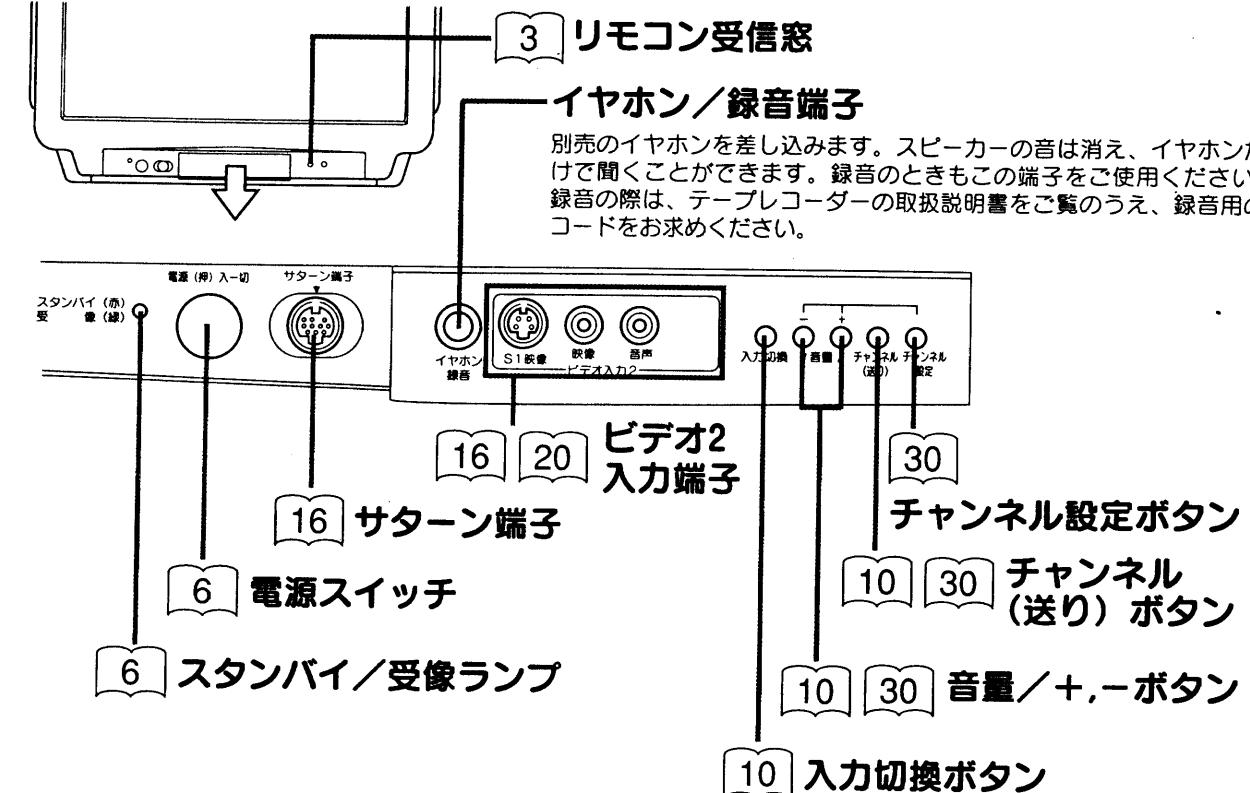
内の数字は、参照ページです。

●リモコン



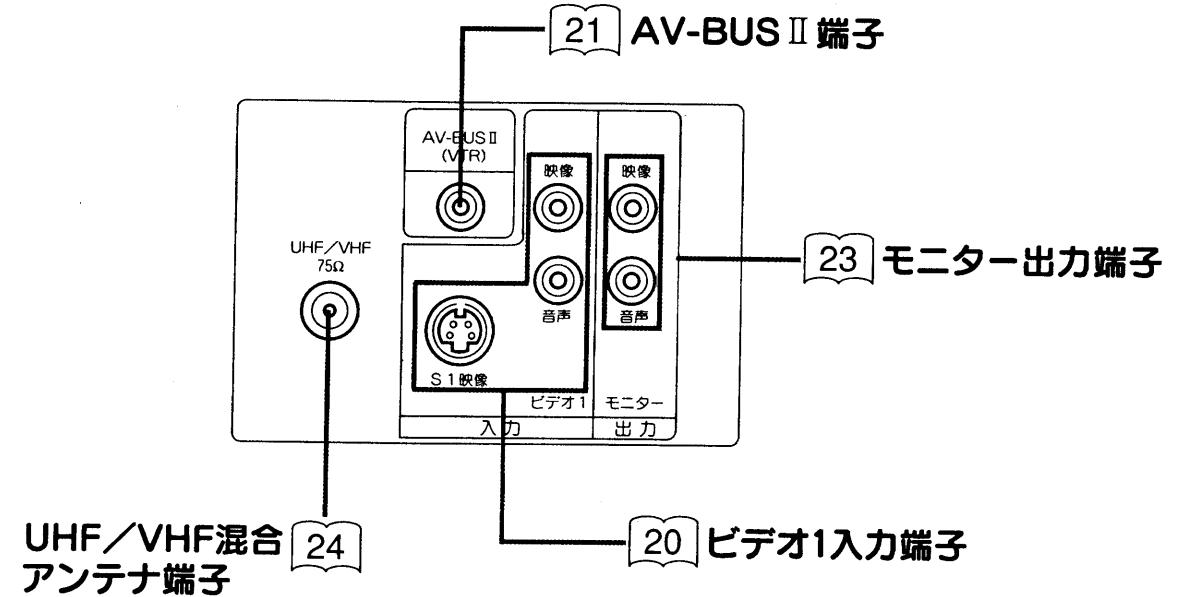
●テレビ本体

前面

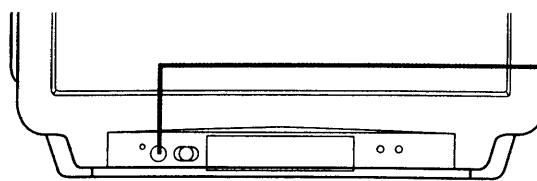


はじめに

背面



テレビ放送を見るには



準備

本体のスタンバイ/受像ランプが消えていると、リモコンでは電源が入りません。まず本体の電源スイッチを押してください。このときは、②の操作から始めてください。

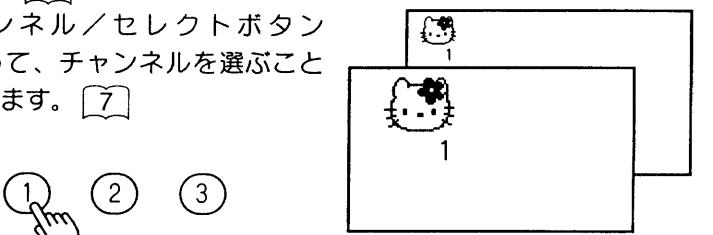
1 電源を入れる

本体のスタンバイ/受像ランプが緑に点灯し、前に見ていたチャンネルが現れます。電源を切るときは、もう一度押します。



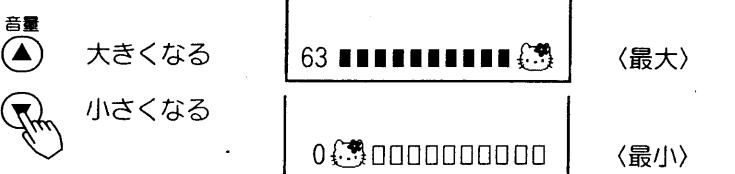
2 チャンネルを選ぶ(1~12)

画面左上に選んだチャンネルが表示されます。数秒後、表示が小さくなり、画面に残ります。表示を消すこともできます。⑨
チャンネル/セレクトボタンを使って、チャンネルを選ぶこともできます。⑦



3 音量を選ぶ

音量の大きさが数字と■■■で画面に表示されます。



リモコンの操作は

スタンバイ/受像ランプが点灯しているときのみ、リモコンの操作は可能です。電源を切るときリモコンの電源ボタンを押して切ると、電源の「入・切」もリモコンでできます。

工場出荷時のチャンネル設定

本機は工場出荷時にVHF1~12チャンネルの12局を設定しています。チャンネルの設定は変更することもできます。②

チャンネル/セレクトボタンの使いかた

本機のリモコンには、矢印(▲▼◀▶)マークのついたチャンネル/セレクトボタンがついています。このボタンを使って、画面の表示を見ながら、手軽にチャンネルが選べます。(画面選局)
また、メニューボタンを押すと画面にメニューが表示され、チャンネル/セレクトボタン(◀▶)を使って、ほとんどの機能の設定ができます。

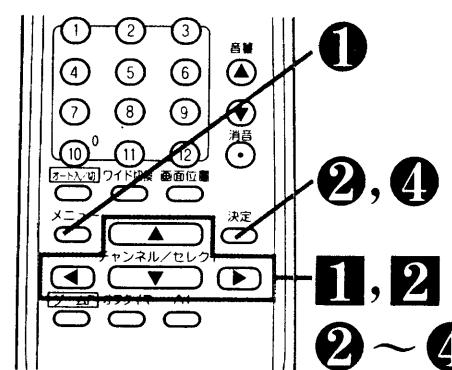
画面選局のしかた

1 テレビを見ているときに◀▶を押す

画面にチャンネルの一覧表示が出ます。
見ているチャンネルは白色で表示されます。

- 「空きチャンネルの飛び越し選局」⑨を行えば、放送されているチャンネルだけが表示され、便利にお使いいただけます。

1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12

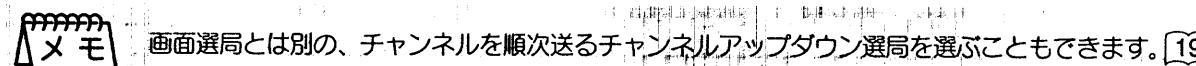


2 ◀▶で見たいチャンネルを選ぶ

△で上下、◀▶で左右のチャンネルを選ぶことができます。

選んだチャンネルに画面が変わります。

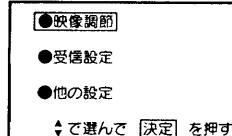
しばらく◀▶を操作しないと、チャンネルの一覧表示は消えます。



機能設定のしかた

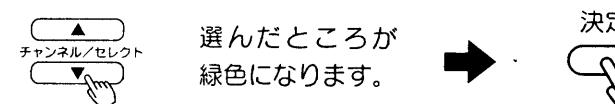
1 メニューボタンを押す

《メニュー》画面が現れます。

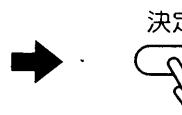
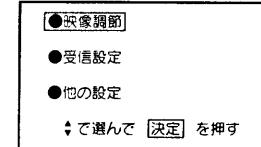


△で選んで決定を押す

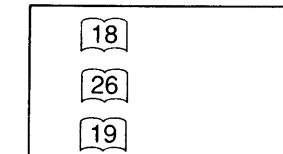
2 △で項目を選び、決定ボタンを押す



選んだところが
緑色になります。



設定画面が現れます。



各項目の詳しい説明は、図に示すページにあります。

3 ◀▶で調節する

△で項目を選んで、◀▶で選択または、調節します。

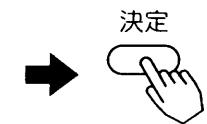
●映像調節を選んだときの
設定画面表示の例

●映像調節	(リラックス)
明るさ	+3
色あい	0
色の濃さ	-2
黒レベル	+10
画質	-10
標準	
戻り	終了
戻り	◀▶で調節

4 設定が終わったら、◀▶で「終了」を選び、決定ボタンを押す

戻り 終了 決定を押す

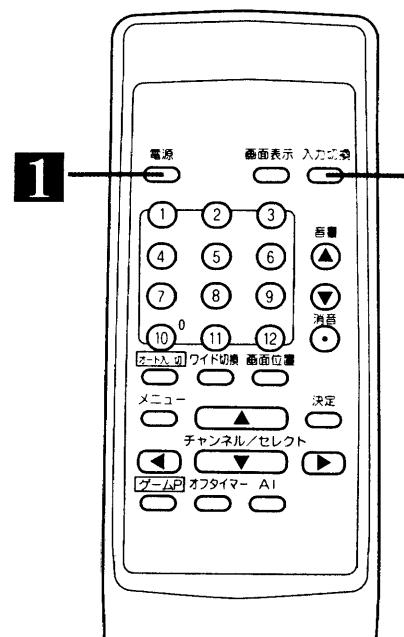
「戻り」を選んだときは、ひとつ前の画面に戻ります。



決定
画面表示が消えて、調節が完了します。
メニューボタンを2回押しても、画面表示が消えます。

基本の使いかた

ビデオを見るには



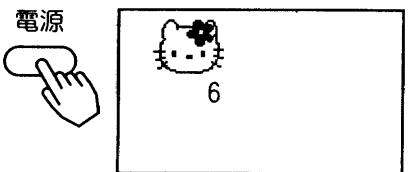
準備

お手持ちのビデオと本機の入出力端子を接続します。接続についての詳しい説明をご参考ください。[\[20\]](#) 日立製AV-BUS端子付と組み合わせると、操作が簡単になります。[\[21\]](#)

1 電源を入れる

前に見ていたチャンネルが現れます。

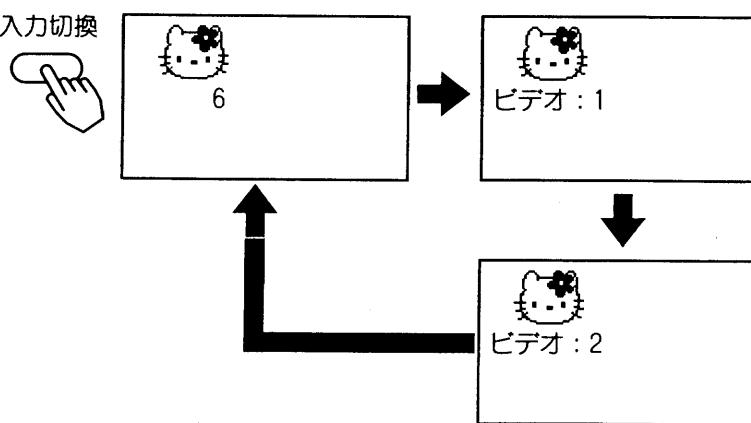
(前にビデオを見ていたときは、ビデオ：1などのビデオ画面になります。)



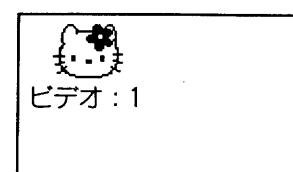
2 入力切換ボタンを押して、ビデオ画面を選ぶ

ボタンを押すごとに、図のように切り替わります。

お手持ちの機器が接続されているビデオ入力を選びます。



3 ビデオを再生する

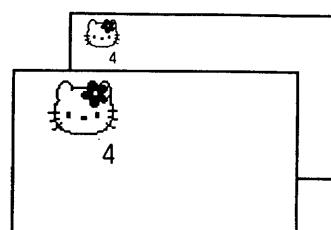


△メモ ビデオの再生中にテレビを見るには
途中でテレビを見るときは、入力切換ボタンを押して「テレビ」にするか、ご希望のチャンネルボタンを押してください。

チャンネル番号などを知りたいとき

画面表示ボタンを押す

ご覧のチャンネルの番号が画面に表示され、しばらくすると小さくなります。表示を消すときは、もう一度押します。



画面表示

テレビ放送のとき

4

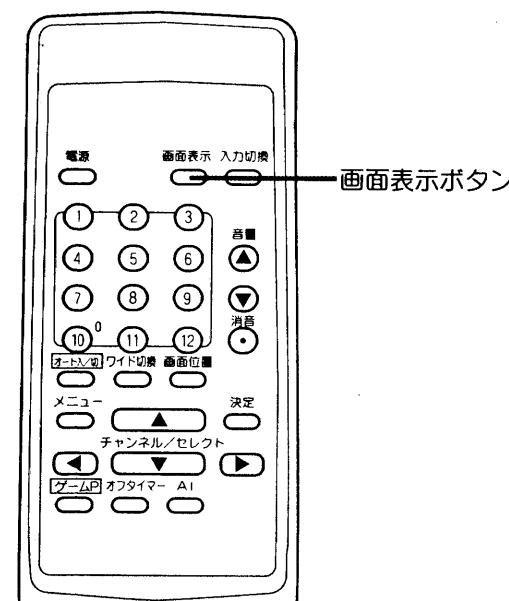
ビデオのとき

ビデオ：1

ビデオ入力番号

ゲームPのとき

ゲーム



基本の使いかた

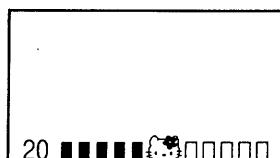
●マークについて
このマークは、ワイドクリアビジョン放送を識別した際に出るマークです。

音を一時的に消したいとき

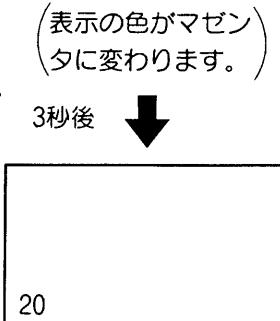
電話がかかってきたときや、来客のときなど便利です。

消音ボタンを押す

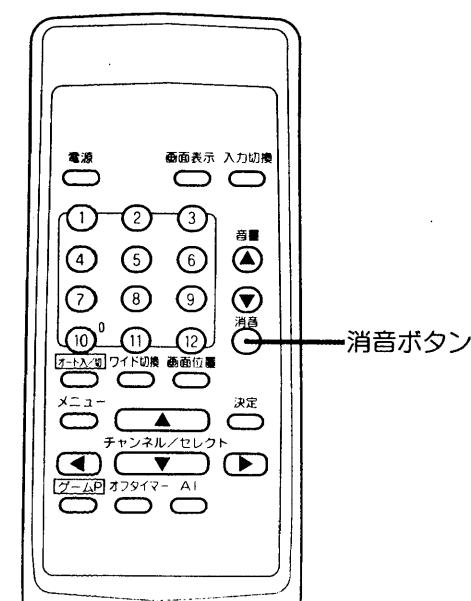
音が消えて、画面に図のような表示が出ます。もう一度押すと元の音量に戻ります。



押した瞬間
(表示の色がマゼンタに変わります。)



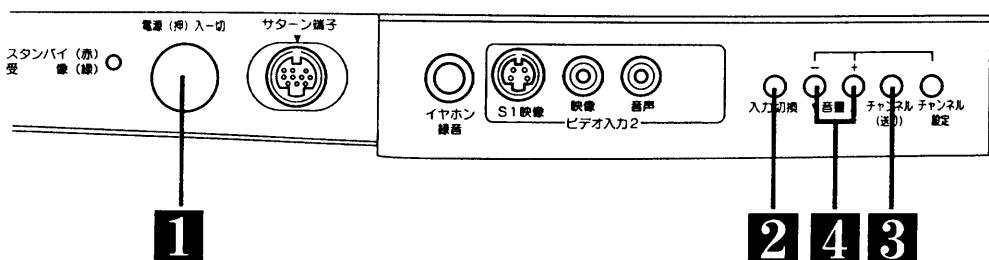
3秒後



△メモ 消音時に音量調節をしたいとき
●消音にしたままでも音量▼ボタンを押すことにより、消音を解除したときの音量を下げるることができます。音を出すときは、もう一度消音ボタンを押すか、音量▲ボタンを押してください。

本体で操作するには

お手近にリモコンがないときは、本体での操作もできます。



1 電源を入れる

スタンバイ/受像ランプが緑に点灯します。

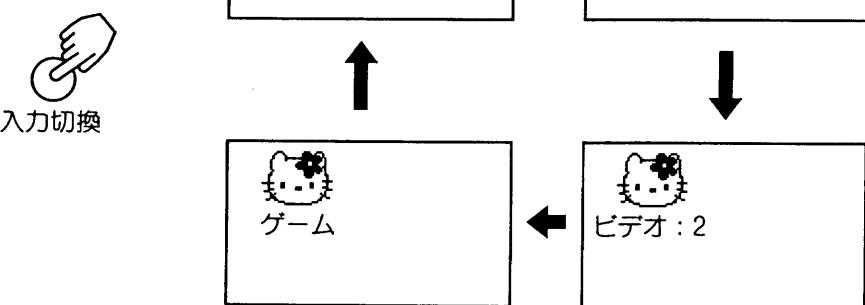
電源を切るときは、もう一度押します。

スタンバイ/受像ランプが赤く点灯しているとき（スタンバイ状態）に電源スイッチを押すと、ランプが消えますので、もう一度電源スイッチを押してください。



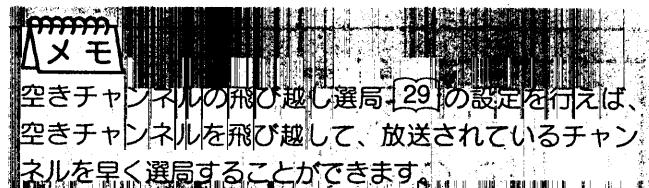
2 入力切換で「テレビ」を選ぶ

入力切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。



3 チャンネルを選ぶ

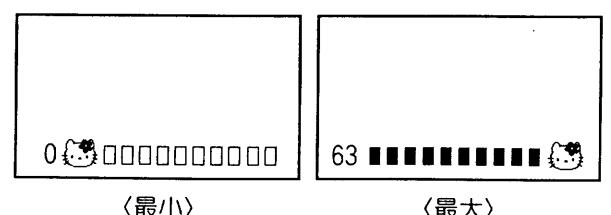
押す：1→2…12→1の順に変わります。（出荷時の設定）



空きチャンネルの飛び越し選局 [29] の設定を行えば、空きチャンネルを飛び越して、放送されているチャンネルを早く選局することができます。

4 音量を調節する

音量の大きさが数字と■■■と000で画面に表示されます。

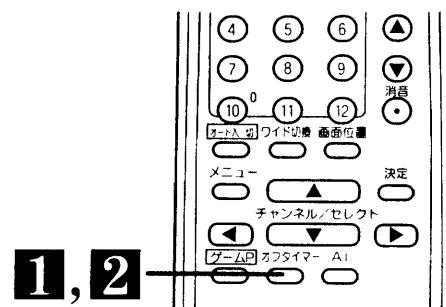


（最小）

（最大）

自動的に電源を切りたいとき

指定した時間が経つと、自動的に電源を切ることができます。お休みのときなどにご利用ください。



1 オフタイマーボタンを押す

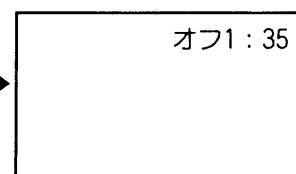
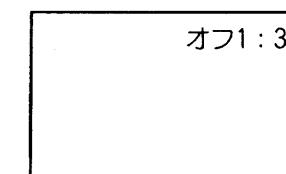


オフ0:00

2 オフタイマーボタンをもう一度押す

ボタンを押し続けると、10分間隔で時間表示が変わります。
ボタンをチョン、チョンと押すと、1分間隔で時間表示が変わります。
約3秒後に表示が消え、タイマー動作がスタートします。

（1時間35分を設定する場合）



ボタンを押し続けて、
1:30を表示させる

ボタンをチョン、チョンと
押して、1:35を設定する

3 電源が切れる

設定時間が経過すると電源が切れます。

オフタイマーを確認、解除するには

確認	解除
<p>オフタイマーを押す。 ↓ 画面右上に残り時間が表示されます。（約3秒間）</p> <p>●残り時間表示中に、もう一度ボタンを押すと、オフタイマーは解除されます。</p>	<p>①オフタイマーを押す。 ↓ 画面右上に残り時間が表示されます。 ②残り時間表示中（約3秒）にもう一度同じボタンを押します。 ↓ オフタイマーは解除されます。</p>

便利な使いかた

ご注意 オフタイマー使用時の注意

- オフタイマー設定中、ボタンの操作は画面表示のある間（約3秒）に行ってください。途中で画面表示が消えた場合は、最初から行ってください。
- 電源を切るとオフタイマーは解除されます。
- オフタイマーは多少の誤差が生じることがあります。
- オフタイマー動作中に停電になりますと、停電が復帰しても、安全のためテレビはオフになります。

メモ オフタイマーの設定範囲について

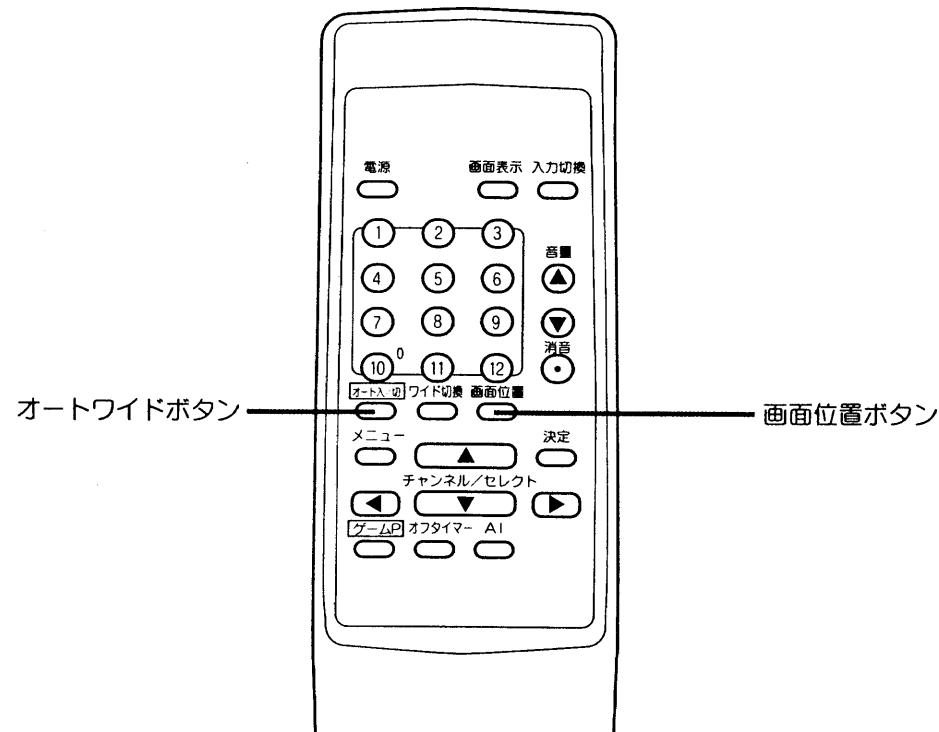
オフタイマーの設定時間の範囲は、2時間（1分間隔）です。

ワイド機能の楽しみかた

本機は横長のワイド画面を採用していますので、現行テレビ放送も、映画など横長の映像を放送されているものは、ワイド機能を使って画面一杯に拡大してお楽しみいただけます。さらに映像を上下に移動させて見やすい位置にすることもできます。13

オートワイド（ジャスピタッワイド）

本機は、見ている映像に合わせて最適なワイドモードを設定する「オートワイド（ジャスピタッワイド）」機能を採用しています。



メモ オートワイドについて

- 映像のサイズによっては上下に黒い帯が残る場合があります。
- 暗い映像の画面などでは、最適なワイドモードにならない場合があります。このような場合は、「オート：切」14～15にしてお好みのワイドモードに設定してください。
- 最適なワイドモードになるまで、映像の内容によって多少時間がかかる場合があります。
- 「オート」から「オート：切」にしたときは、電源の「入」「切」、チャンネル切換、入力切換を行うまでは、画面サイズ、位置は前の状態を保持します。
- メニューの「受信設定」を選択すると、ノーマル、スムーズのうちの最後に見ていたモードになります。

メモ ワイドクリアビジョン放送識別について

ワイドクリアビジョン放送は、現行の放送方式と両立性を保ちながら、放送信号にワイドクリアビジョン放送識別信号と画質向上信号を付加し、ワイド画面化と画質向上を図ろうとする放送方式です。本機は上記ワイドクリアビジョン放送識別信号に対応して、現行方式かワイドクリアビジョン放送かを識別し、ワイドクリアビジョン放送であれば自動的に最適サイズに切り換える回路を搭載しています。

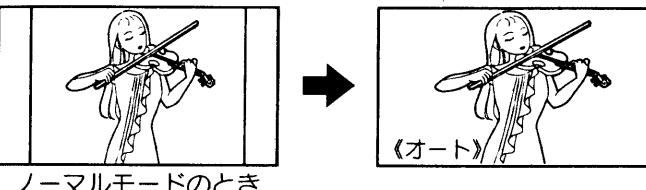
- ワイドクリアビジョン放送識別は「オート」モード時のみ有効です。
- ワイドクリアビジョン放送受信中に画面表示ボタンを押したとき、またはチャンネル切換、入力切換を行ってワイドクリアビジョン放送を受信したときのみ[エ]が表示されます。
- ワイドクリアビジョン放送信号をビデオに録画して再生する場合は、ビデオの機種によっては、ワイドクリアビジョン放送識別がうまく動作しない場合があります。

オートワイドの設定のしかた

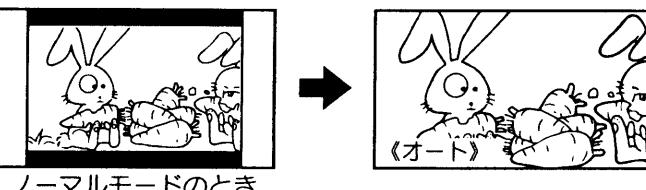
オートワイドボタンを押すと、画面に《オート》と表示されます。さらにボタンを押すと次の手順でモードが切り換わります。

オート→オート：切
通常は「オート」でお使いください。

見ている映像が通常の映像のとき



見ている映像が上下に黒い帯の入った横長サイズの映像のとき



通常4：3の映像をワイド画面に違和感なく、横方向に不自然にならないようにし、垂直方向に10%拡大して画面一杯に表示します。

横長サイズの映像を画面のサイズ、画面の中心位置を最適にして上下の黒帯を最小になるように表示します。また、字幕などの文字を最適に再生できます。

ご注意
「オート」モード時は、リモコンの「ワイド切換」ボタンを押しても《オート》表示を行い、切り換えは行われません。

画面を移動したいとき

「ノーマル」「フルモード」以外のワイドモード時は、画面を上下に移動することができます。「映画1」「映画2」にすると字幕が消えてしまうようなときにお使いになると便利です。

1 画面位置ボタンを押す

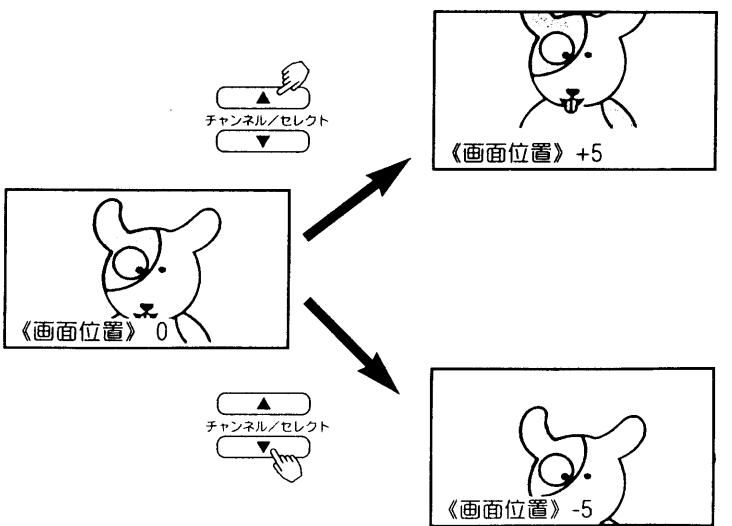
画面下に《画面位置》の表示が出ます。

2 ▲でお好みの位置に調整する

- スムーズ、映画1字幕は±12、映画1、映画2、映画2字幕は±31の範囲で画面位置調整ができます。

3 終わったら画面位置ボタンを押す

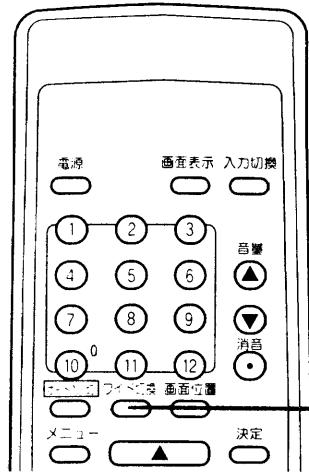
《画面位置》の表示が消えます。



ワイド機能の楽しみかた（つづき）

ワイド機能の選びかた

好みに合わせて、ワイドモードを選ぶことができます。



ワイド切換ボタン

準備

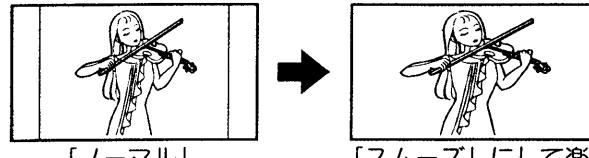
オートワイドを「オート：切」にする

ご注意 ワイド画面テレビに関するご注意

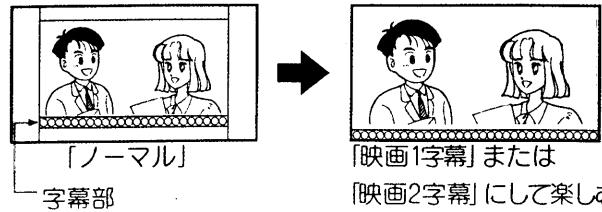
- このテレビは、各種の画面モード切換機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されると、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、ワイド機能を使った拡大状態で使用されますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来（通常）の4:3の映像をオートまたはスムーズモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

メモ ワイド機能の上手な使いかた

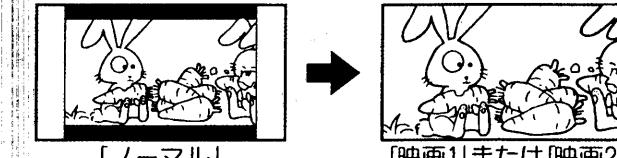
通常のテレビ放送



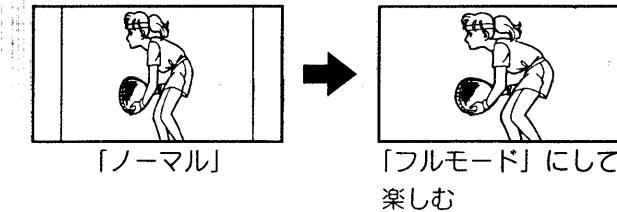
上下に黒帯があり字幕のある映像



上下に黒帯がある映像



スクイーズ映像（横圧縮映像）



準備

オートワイドを「オート：切」にする

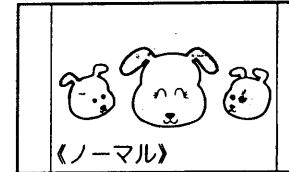
ワイド機能の選びかた

ワイド切換ボタンを押す

- リモコンの「ワイド切換」ボタンを押すと、現在の設定状態を表示します。さらにボタンを押すと次の手順でワイドモードが切り換わります。

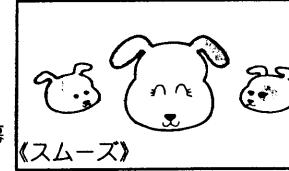


スムーズ → 映画1 → 映画2 → 映画1字幕
ノーマル ← フル ← 映画2字幕



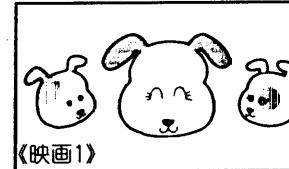
ノーマル（通常の状態）

通常のテレビ放送の映像は中央に映ります。



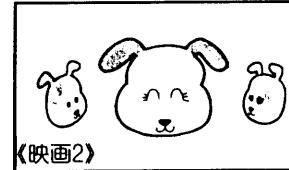
スムーズ

4:3の映像を画面中央の真円度を保ち、水平方向に不自然にならないように画面一杯にし、垂直方向に10%拡大します。ドラマなどのスタジオ番組に最適です。



映画1

ピクチャーサイズの映画などを水平・垂直両方向に約30%拡大します。上下に黒帯の入った映像で放送されている映画などを迫力の画面で楽しめます。



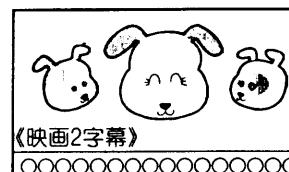
映画2

シネマサイズの映画などの両側を少し縮小し、画面一杯に拡大します。上下に黒い部分がなくなり迫力の画面で楽しめます。



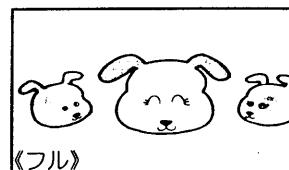
映画1字幕

字幕付のピクチャーサイズの映像に最適です。



映画2字幕

字幕付のシネマサイズの映像に最適です。
(画面位置は、工場出荷時+10に設定しています。)



フルモード

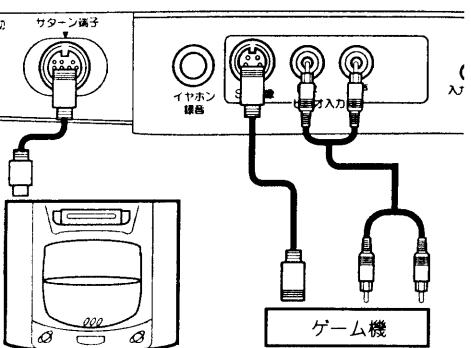
横方向を圧縮して記録された映像（スクイーズ映像）を横方向に画面一杯まで拡大します。
ハイビジョン番組をビデオに録画し、それを再生して楽しむときなどに使います。

- ノーマル以外のモードで電源を切った場合は、電源を入れると、スムーズモードになります。
- ノーマルモードの場合は、ノーマルモードとなります。
- （チャンネル切換、入力切換を行った場合も同様です。）

テレビゲームを楽しむとき

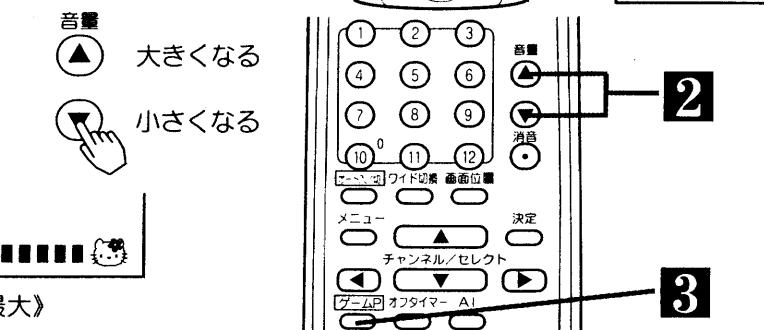
1 テレビゲーム本体とテレビ前面のビデオ入力2またはサターン端子を接続する

- S1映像、ならびにサターン端子で入力した映像信号はモニター出力からは出力されません。
- テレビとの接続は、テレビゲーム本体の取扱説明書をご覧ください。
- ビデオ入力2、サターン端子は同時に使用できません。ご使用になる端子のみにケーブルを接続してご使用ください。



2 音量を調節する

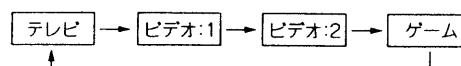
音量の大きさが数字と
で画面に表示されます。



3 ゲームPボタンを押す

押すごとに、右図のように切り換わります。

また、本体の入力切換ボタンで切り換えることもできますが、このときは、下図の手順で切り換わります。



ゲームPボタンについて

ゲームPを選ぶと、AIモードはAIゲーム、ワイドモードはフルモードに切り換わります。入力は、前面のビデオ入力2端子、サターン端子に変わります。ゲーム画面でもAIモード、ワイドモードを切り換えることができます。

テレビゲームを楽しむときは、目にやさしい画面のAIゲームをおすすめします。

サターン端子との接続

ゲーム機「サターン」をお持ちの方は、別売りのケーブル〔10ピン ミニDIN(別売り: TP-AVS10コード長2m)〕を接続することにより、ゲーム機の電源を入れるだけで、自動的にテレビの電源が入り(主電源スイッチが「切」の場合は入りません。)ゲームポジションに切り換わります。

ケーブルのお買い上げについての詳細は、販売店へご相談ください。

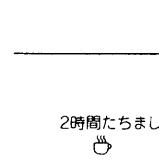
1 ゲーム機の電源を入れる

テレビの電源が入り、ゲームポジションの画面になります。

ゲーム機の電源を切ると、画面は前に見ていたチャンネル(ビデオを見ていたときはビデオ:1など)になります。

ゲームタイマーについて

ゲームP(ポジション)を選択しますと、時間が経過(1時間、1時間30分、…最大4時間)するごとに、時間とイラストで表示します。(約5秒)表示時間を目安に適度な休憩をとり、お楽しみいただけます。一度電源を「切」にすると、経過時間が0に初期化されます。



ご注意

- 電源スイッチON直後は、画面の内容により若干色ムラを生じる場合があります。
- ゲームの種類・内容によっては、画面が欠ける場合があります。

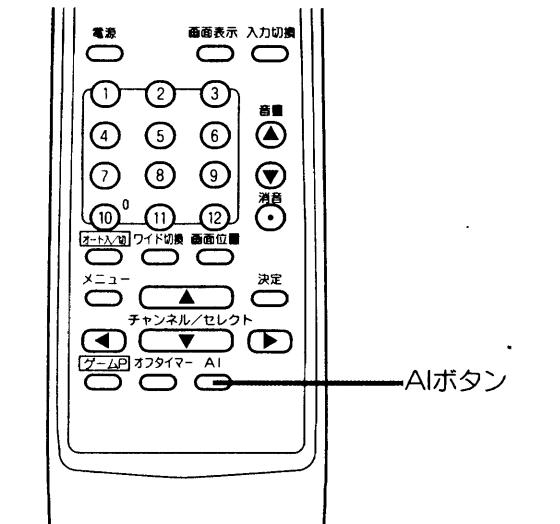
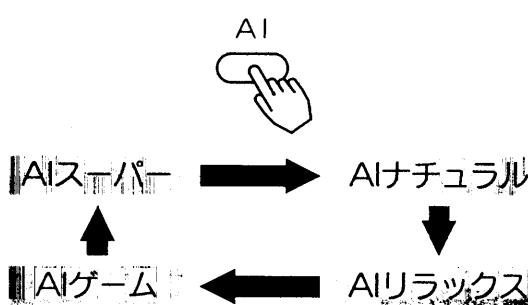
映像の自動調整(AI)について

「AI」は放送信号、周囲の環境に合わせてより適した映像に自動的に調整する機能です。設置場所や映像ソフトに合わせて「AIスーパー」、「AIナチュラル」、「AIリラックス」、「AIゲーム」の4つからお好みの映像を選ぶことができます。

AI機能の選びかた

AIボタンを押す

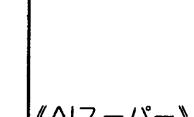
ボタンを押すと、AI機能の状態が画面に表示されます。さらにボタンを押すごとに、図のように切り換わります。



各AI機能について

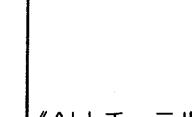
AIスーパー

- 鮮明でコントラストのある画像に調整します。
- 明るい部屋で、メリハリのある画像を楽しむときに適したモードです。



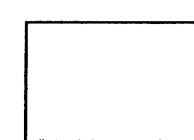
AIナチュラル

- 周囲の明るさに合わせ、画面の明るさを自動的にコントロールします。
- 通常のテレビ番組、ビデオカメラの再生などを楽しむときに適したモードです。(省エネルギーにも対応したモードです。)



AIリラックス

- 色温度を通常よりも低く設定し、黒レベル補正を弱めることで、長時間視聴しても心地よい落ち着いた色合いと、階調再現を重視した映像を提供します。
- 映画館のスクリーンを見るような感覚で映画を楽しむときや、電球色などの落ちついた照明を採用したリビングなどで長時間視聴に適したモードです。



AIゲーム

- 画面の明るさを自動的にコントロールすることで、目にやさしい映像に自動調整します。(AIナチュラルより少し暗めの設定となります。)
- テレビゲームを楽しむときに適したモードです。(ゲームを選ぶと、初期モードはAIゲームが選択されます。[16])



各AIモードについて

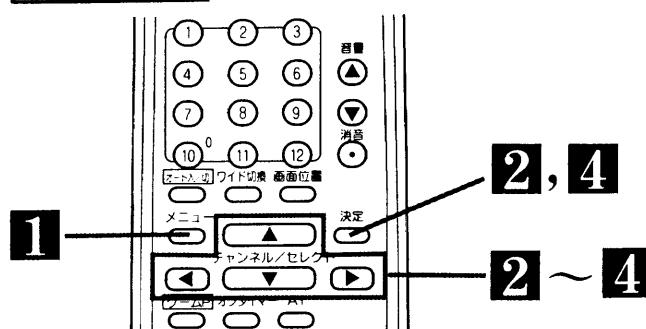
各AIモードについて、明るさ(AIナチュラル、AIゲームを除く)、色合い、色の濃さ、黒レベル、画質は、お好みの画像に調節できます。[18]

便利な使いかた

映像調節をするには

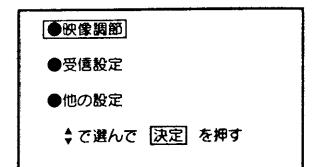
映像設定

お好みに合わせて、明るさ、色あい、色の濃さ、黒レベル、画質の調節ができます。

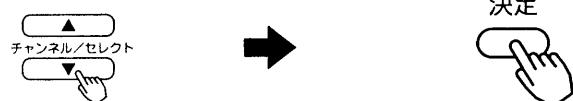


1 メニューボタンを押す

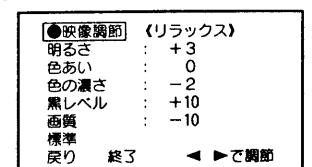
《メニュー》画面が現れます。



2 ▲で「映像調節」を選び、決定ボタンを押す



決定



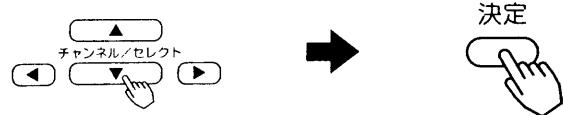
3 ▲で調節したい項目を選び、◀▶で調節する

▲ 映像調節 項 目	◀	▶	調節のポイント
明るさ	暗くなる	明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすく
色あい	赤っぽくなる	緑っぽくなる	肌色がきれいに見えるように
色の濃さ	色が淡くなる	色が濃くなる	お好みの濃さに
黒レベル	暗い部分がより暗くなる	暗い部分が明るめになる	黒髪の濃さに合わせて、見やすく
画質	やわらかな画質になる	くっきりした画質になる	ふだんは中央で

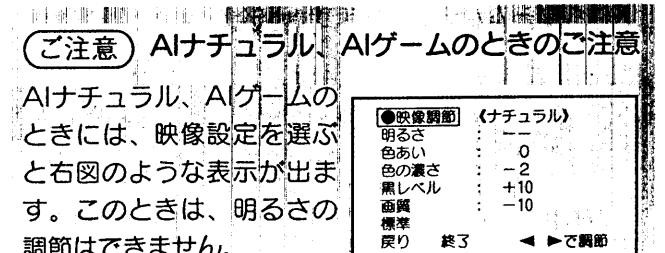
標準を選んで決定を押すと、工場で設定した標準レベルに戻ります。

4 ◀▶で「終了」を選び、決定ボタンを押す

●調節後は、チャンネル切換をしたり、電源を切っても記憶されます。

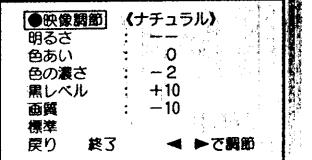


決定



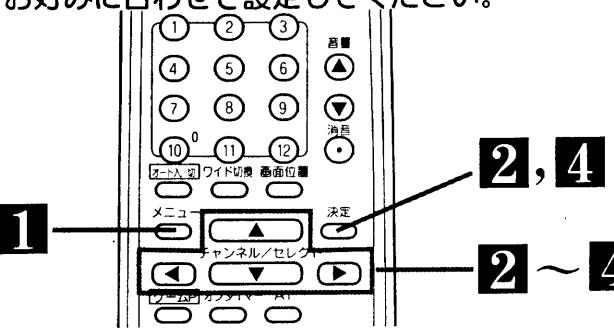
ご注意) AIナチュラル、AIゲームのときのご注意

AIナチュラル、AIゲームのときには、映像設定を選ぶと右図のような表示が出ます。このときは、明るさの調節はできません。



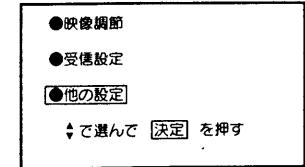
お好みに合わせて設定を変えたいとき

選局モード（チャンネル／セレクトボタンのボタン機能を切り換える）などの設定ができます。
お好みに合わせて設定してください。



1 メニューボタンを押す

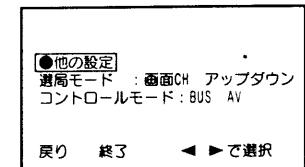
《メニュー》画面が現れます。



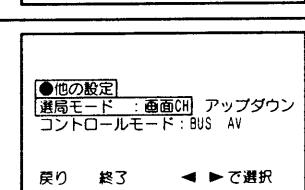
2 ▲で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す



決定

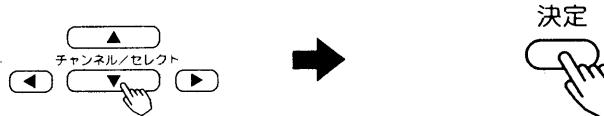


3 ▲で設定したい機能を選び、◀▶で選択する



▲ 設定項目	◀ ▶	設定のポイント
選局モード	画面CH↔アップダウン	工場出荷時は「画面CH」になっています。アップダウン選局をしたいときは「アップダウン」を選択します。
コントロールモード	BUS↔AV	日立のビデオと接続するときに合わせます。[21]

4 ◀▶で「終了」を選び、決定ボタンを押す



決定

メモ 設定を変えたときの効果

選局モード

「画面CH」を選ぶとチャンネル／セレクトボタンで画面選局ができます。[7]

「アップダウン」を選ぶとチャンネル／セレクトボタンの上下 ▲でチャンネルアップダウン選局ができます。

コントロールモード

後面のAV-BUS II端子の信号方式が切り換わります。

日立のAVコントロール、AV-BUS、BSコントロール端子付ビデオをお使いのときに、「ビデオを再生するだけでビデオの映像が出る」といった自動機能を確実に働かせるための切り換えです。

BUS : AV-BUS、BSコントロール端子付ビデオのとき
AV : AVコントロール端子付ビデオのとき

便利な使いかた

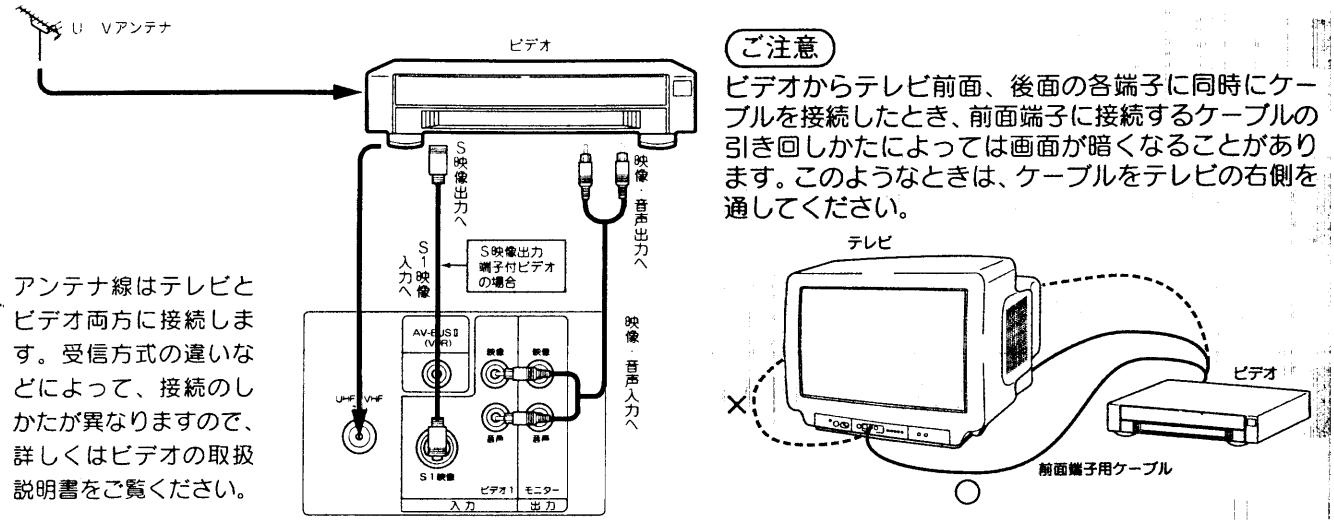
他の機器との接続使用

ビデオとの接続

S映像出力端子付のビデオをご使用のときは、S映像コードの接続をされることをおすすめします。より良い画質でビデオを楽しめます。

S1映像・映像入力の切り換えを本機では自動的に判別します。S1映像と映像入力を同時に入れた場合は、S1映像を優先します。

S1映像で入力した映像信号はモニター出力からは出力されません。



使いかた

1 入力切換ボタンで「ビデオ：1」にする

- 画面に「ビデオ：1」の表示が出ます。

入力切換



2 ビデオを操作する

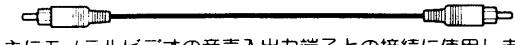


S1映像端子について

より美しい映像を再現するため、明るさの信号と色の信号を分けて送る信号端子です。S1映像入力端子と映像入力端子が両方接続されている場合は、より画質の良いS1映像が優先されます。本機はフルモード制御信号の入った映像が、ビデオ1、2のS1映像入力端子より入力されるとワイドモードは自動的にフルモードになります。

システムアップに必要な接続コード（別売り）

- 音声信号入出力接続コード HPU-131AV（コード長2m）



主にモノラルビデオの音声入出力端子との接続に使用します。

- 音声信号入出力接続コード HPU-141AV（コード長1.5m）



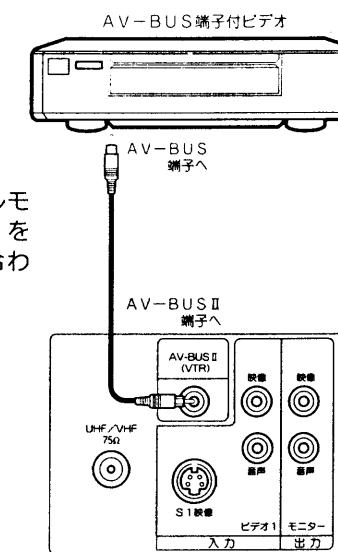
主にHi-Fiビデオの音声入出力端子との接続、ステレオ装置との接続に使用します。

ご注意 接続時のご注意

- 他の機器と組み合せてご使用になるときにはそれぞれの取扱説明書をよくお読みになってください。
- 接続の際は各機器の電源を切ってから行ってください。電源を入れた状態で接続すると、大きな音が出たり故障の原因となることがあります。
- 他の機器との接続時、入出力端子をまちがえて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。

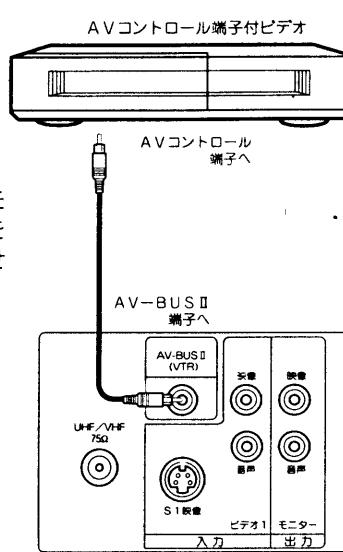
日立のAV-BUS端子付ビデオとの接続

日立のAV-BUS端子付ビデオをご使用になると、ビデオの操作でテレビの電源の「入・切」と入力を切り換えることができます。**[20]** の接続をした後、下図の接続をします。



日立のAVコントロール端子付ビデオとの接続

日立のAVコントロール端子付ビデオをご使用になると、ビデオの操作でテレビの入力を切り換えることができます。**[20]** の接続をした後、下図の接続をします。



使いかた

1 ビデオを操作する

ビデオの電源を入れると テレビの電源が入り、入力切換が「ビデオ：1」になり、ビデオ画面になります。

ビデオの電源を切ると テレビの入力切換が「テレビ」に戻って、テレビの受信画面になります。

ビデオのオフタイマー機能を使って、電源を切ると テレビの電源も切れます。

ビデオ/テレビ切換ボタンで「ビデオ：1」にすると テレビの入力切換が「ビデオ：1」になります。

ビデオ/テレビ切換ボタンで「テレビ」にすると テレビの入力切換が「テレビ」になります。

使いかた

1 ビデオを操作する

ビデオの電源を入れると テレビの入力切換が「ビデオ：1」になりビデオの画面になります。

ビデオ/テレビ切換ボタンで「ビデオ：1」にすると テレビの入力切換が「ビデオ：1」になります。

ビデオ/テレビ切換ボタンで「テレビ」にすると テレビの入力切換が「テレビ」になります。

電源を切ると テレビの入力切換が「テレビ」になります。

便利な使いかた

メモ AV-BUS接続時のお願い

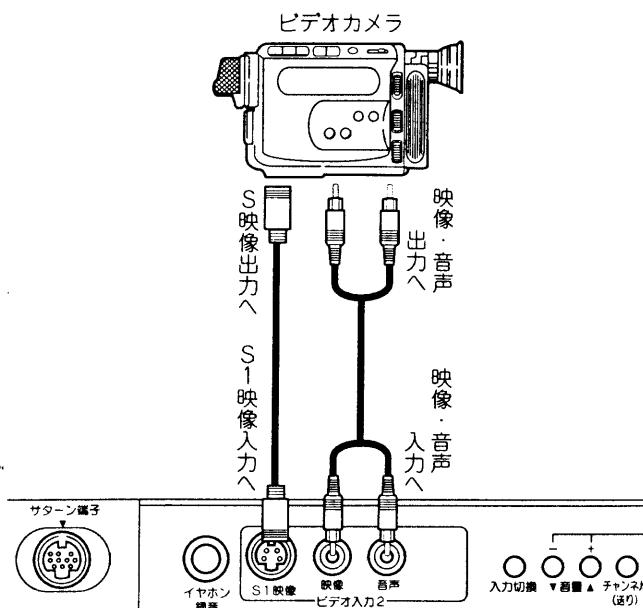
- テレビおよびビデオの電源を切ってから接続してください。
- テレビの電源スイッチが「切」の場合、AV-BUS IIは動作しません。
- AV-BUS IIは「ビデオ：1」の入力で動作します。

メモ AVコントロール接続時のお願い

- テレビおよびビデオの電源を切ってから接続してください。
- AVコントロールは「ビデオ：1」の入力で動作します。

他の機器との接続使用（つづき）

ビデオカメラとの接続



使いかた

1 入力切換ボタンで「ビデオ：2」にする

- 本体の入力切換ボタンを押しても、「ビデオ：2」に切り換えられます。



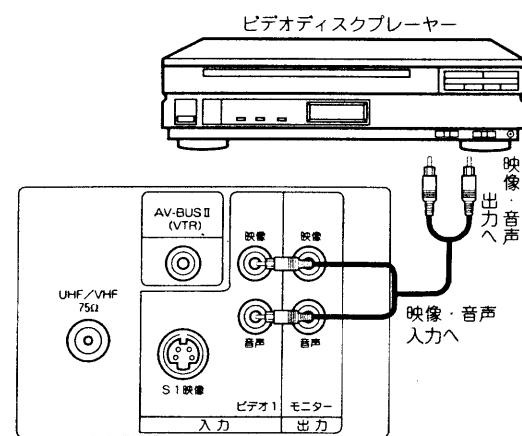
ビデオ：2

2 ビデオカメラを操作する

ご注意

- サターン端子にケーブルが接続されているときは、ケーブルを抜いてお使いください。
- リモコンのゲームPボタン、または、本体の入力切換ボタンでゲームを選ぶと、ビデオ入力2はゲームモードとなり、ワイドモードはフルモードの状態になります。入力切換ボタンでビデオ：2に切り換えてください。

ビデオディスクプレーヤーとの接続



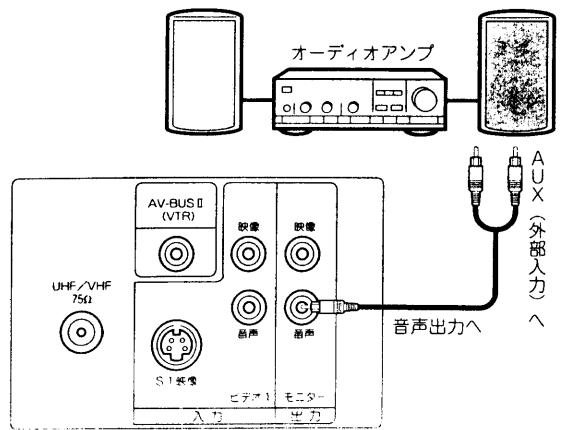
使いかた

1 入力切換ボタンで「ビデオ：1」にする

2 ビデオディスクプレーヤーを操作する

接続はビデオ1,2入力のいずれでも接続できます。
(ビデオ2に接続したときは、それぞれ入力切換ボタンで「ビデオ：2」を選んでください。)

オーディオ機器との接続



使いかた

ステレオ装置などを接続することにより、迫力ある音声を楽しむことができます。

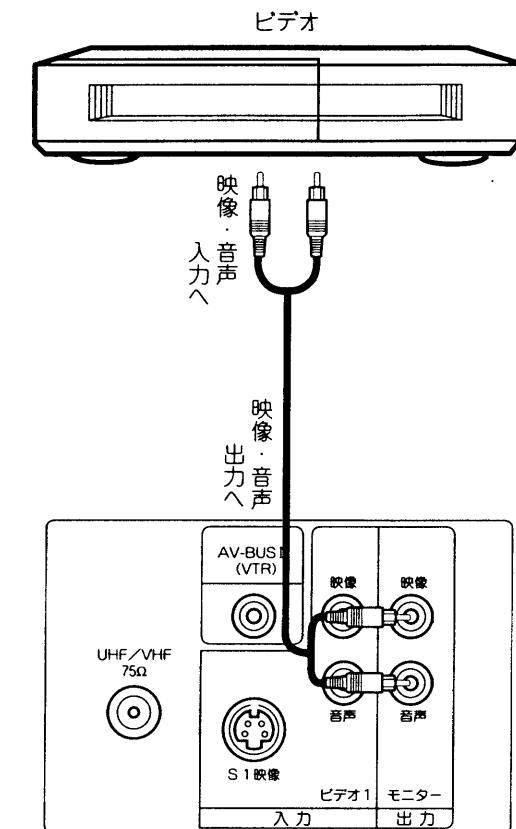
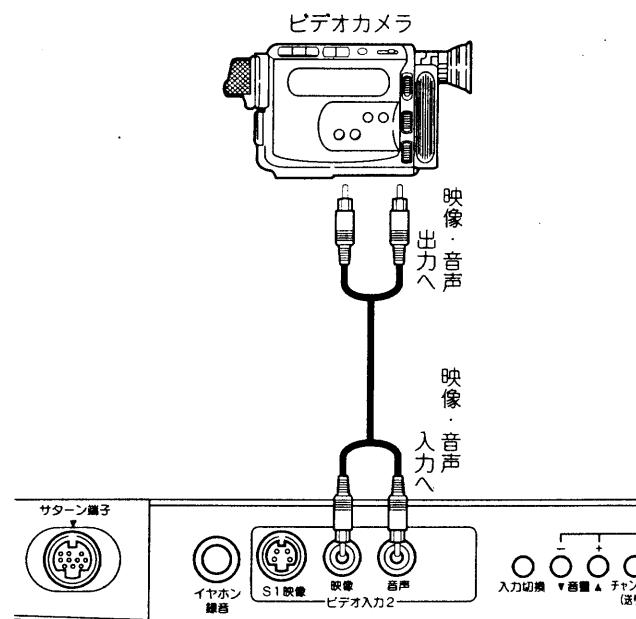
1 接続したステレオ装置などで音量を調節する

ステレオ装置で音を楽しむ場合は、テレビの音量を最小にしておいてください。

ご注意 ステレオ装置ご使用時のご注意

ステレオ装置のスピーカーがテレビに近すぎると、画面の色がみだれることがあります。このような症状が出たときは、テレビから離して置いてください。

画面を見ながらテープ編集をする



使いかた

1 入力切換ボタンで「ビデオ：2」にする



（ビデオ1入力に接続された機器を編集するときは、「ビデオ：1」にします。）

2 ビデオを外部入力に合わせる

詳しくはビデオの取扱説明書をご覧ください。

3 ビデオカメラを再生状態にする

4 ビデオを録画状態にする

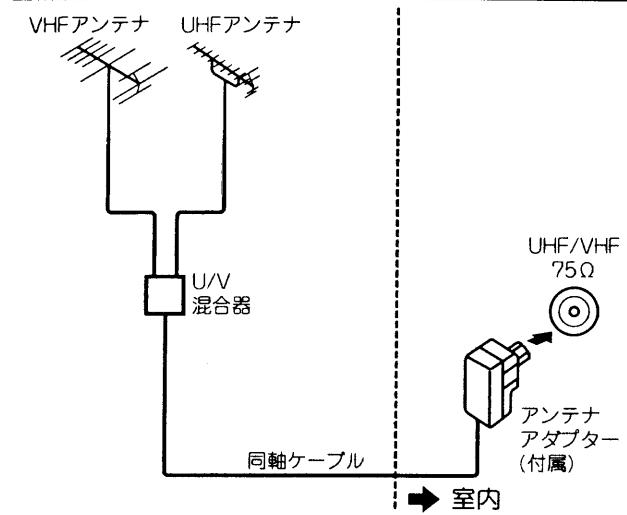
- ビデオの録画状態の設定について詳しくお手持ちのビデオの取扱説明書をご覧ください。
- モニター出力を使用して録画する場合は、録画中に入力切換、チャンネル切換を行わないでください。
- モニター出力は画面に映っているものを出力しますが、ワイド処理された信号が出力されるものではありません。

便利な使いかた

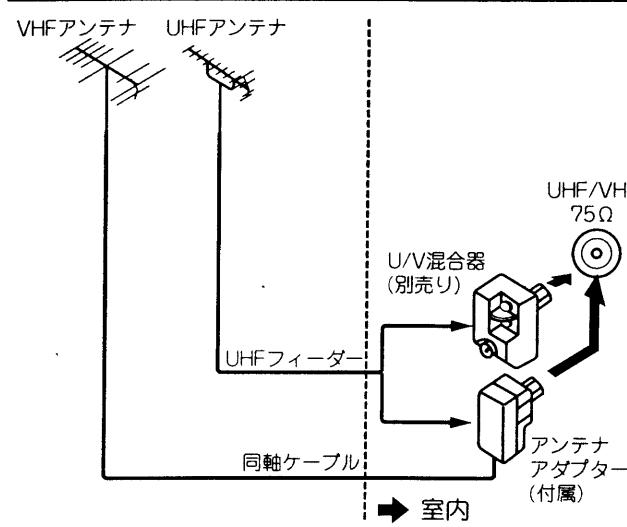
アンテナ線の接続

UHF/VHFアンテナ線の接続

UHF/VHFアンテナが混合のとき



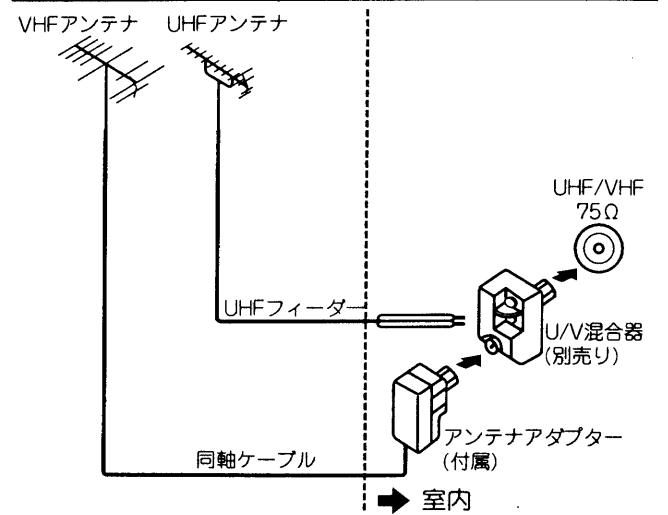
UHF/VHFどちらか一方のとき



△メモ アンテナアダプターについて
同軸ケーブルやUHFフィーダーにアンテナアダプターなどが接続されていないときは、[25]を見て接続してください。

△注意 アンテナ工事には、技術と経験が必要です
ので、販売店にご相談ください。

UHF/VHFアンテナが独立のとき

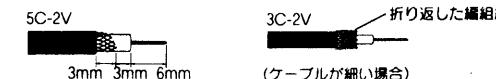


△注意 アンテナ線接続時のご注意

- アンテナ線には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用をおすすめします。
- 平行フィーダーを使用しますと受信状態が不安定となり、妨害電波を受けやすく、画面にしま模様が現れたりします。
- 室内アンテナも妨害電波を受けやすいので、お避けください。
- アンテナ線に対して、電源コードや他の接続コード類をできる限り離してください。

アンテナアダプターと同軸ケーブルの接続

1 先端を加工する



2 ふたを開ける

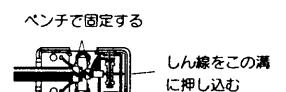


3 ビニール線を切断する

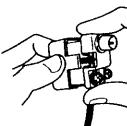


*ツメに接続されている
ビニール線(2本共)
を切断する

4 同軸ケーブルを取り付ける



5 ふたをしめる



UHFフィーダーの接続

1 先端を加工する



2 U/V混合器(別売り)、または アンテナアダプターに接続する



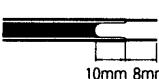
UHF/VHFアンテナが独立のときは、U/V混合器(別売り)に接続してください。

●UHFフィーダーはUHF専用のものをご使用ください。

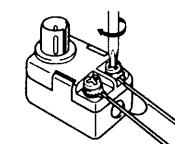
(VHF平行フィーダーなどで、
代用されますと、画質が悪く
なります。)

アンテナアダプターとVHF平行フィーダーの接続

1 先端を加工する



2 ネジをゆるめ、平行フィーダーを接続する



受信設定について

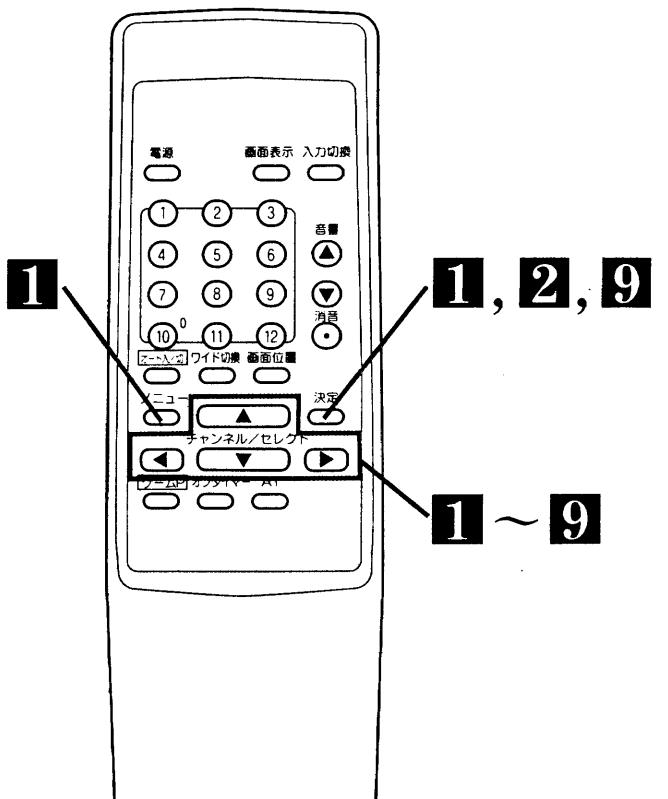
ワンタッチ方式 チャンネルの配列を変えたり、空きチャンネルにUHFのチャンネルを設定することができます。

チャンネルの合わせかた

工場出荷時には、チャンネルボタンの番号と同じ位置に、VHFの1~12チャンネルが設定されています。UHF放送を受信したり、チャンネルを入れ替えるときには、チャンネル合わせが必要です。

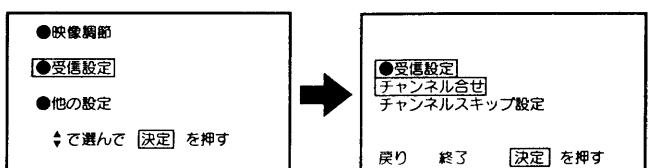
選局方式の変更

チャンネルは、最初は1回だけボタンを押せば選べる、ワンタッチ方式になっています。CATVをご覧になる場合に、チャンネルが12局を越えるときは、2桁の数字で入力する10キーの方式に変更することができます。28

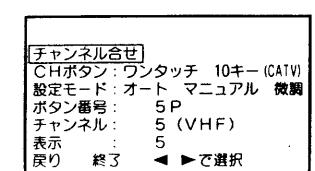


例) リモコン⑤の位置にUHFの42チャンネルを設定する方法

1 メニューボタンを押し、 \downarrow で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

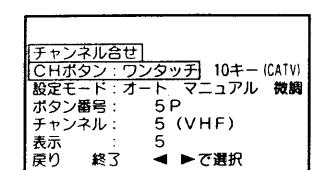


2 \downarrow で「チャンネル合せ」を選び、決定ボタンを押す



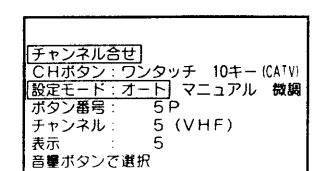
3 \downarrow で「CHボタン」を選び、 \blacktriangleleft \triangleright で「ワンタッチ」を選択する

- 工場出荷時は、「ワンタッチ」に設定されています。
- ワンタッチ : 1回だけボタンを押せば選局できます。
- 10キー : 2桁の数字で選局できます。



4 \downarrow で「設定モード」を選び、 \blacktriangleleft \triangleright で「オート」を選択する

通常は「オート」をお使いください。



5 \downarrow で「ボタン番号」を選び、 \blacktriangleleft \triangleright で「5P」を設定する

●最初は現在の受信チャンネルボタンが表示されます。

チャンネル合せ
CHボタン: ワンタッチ 10キー (CATV)
設定モード: オート マニュアル 微調
ボタン番号: 5P
チャンネル: 5 (VHF)
表示: 5
戻り: 終了 \blacktriangleleft \triangleright で設定

6 \downarrow で「チャンネル」を選び、 \blacktriangleleft \triangleright で「42」を設定する

チャンネル合せ
CHボタン: ワンタッチ 10キー (CATV)
設定モード: オート マニュアル 微調
ボタン番号: 5P
チャンネル: 42 (UHF)
表示: 5
戻り: 終了 \blacktriangleleft \triangleright で設定

7 \downarrow で「表示」を選び、 \blacktriangleleft \triangleright で「42」を設定する

チャンネル合せ
CHボタン: ワンタッチ 10キー (CATV)
設定モード: オート マニュアル 微調
ボタン番号: 5P
チャンネル: 42 (UHF)
表示: 42
戻り: 終了 \blacktriangleleft \triangleright で設定

8 設定したチャンネルで、微調したい場合は \downarrow で「設定モード」を選び、 \blacktriangleleft \triangleright で「微調」に設定し、 \downarrow で「チャンネル」を選び、 \blacktriangleleft \triangleright で同調をずらし微調する

複数のチャンネルを変更する場合

5 ~ 8 の操作をくり返します。

9 \blacktriangleleft \triangleright \downarrow で「終了」を選び、決定ボタンを押す

メモ CATV(ケーブルテレビ)について

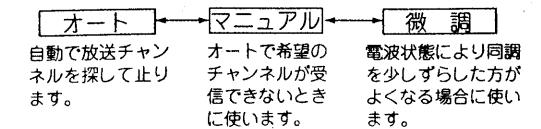
CATVはUHF62チャンネルとVHFチャンネルとの間で設定できます。

\leftrightarrow VHF1~12 \leftrightarrow UHF13~62 \leftrightarrow CATV13~35 \leftrightarrow

●CATVの受信は、サービスの行われている地域でのみ可能で、CATV会社との契約手続きが必要となります。詳しくはCATV会社にお問い合わせください。

メモ 「マニュアル」「微調」の選択について

●4の操作のときに \blacktriangleleft \triangleright を押すと、選局モードがつぎのように変わります。通常は「オート」でお使いください。



受信設定について（つづき）

10キー方式について

CATVをご覧になる場合に、チャンネルが12局を越えるときは、10キー(CATV)を選択します。VHFおよびCATV(C13~35)を1~10キーで選局することができます。

10キー方式でチャンネルを選ぶときは、リモコンCHボタンは、次の意味となります。

1~9 ……数字の1~9

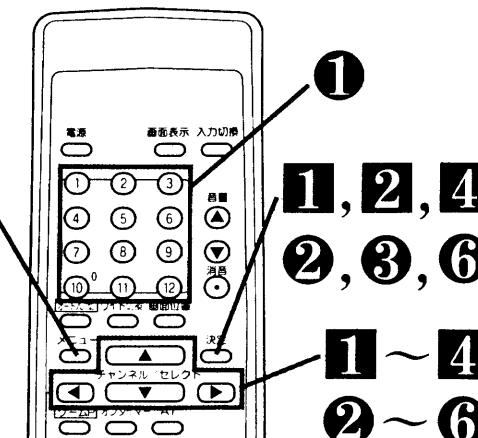
10 ……数字の0

例) 7チャンネル ……10.7

12チャンネル ……(1.2)

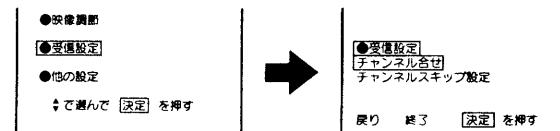
CATV C35チャンネル ……3.5

- ご注意 10キー モード時のご注意**
- 10キー (CATV) を選択しますと、UHFを受信することはできません。
 - 表示番号の入れ替えはできません。

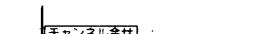


10キー方式にかかる場合

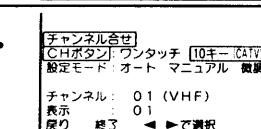
- 1** メニュー ボタンを押し、**△**で「受信設定」を選び、決定 ボタンを押す



- 2** **△**で「チャンネル合せ」を選び、決定 ボタンを押す



- 3** **△**で「CHボタン」を選び、**◀▶**で「10キー (CATV)」を選択する



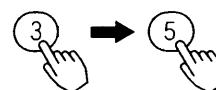
- 4** **◀▶**で「終了」を選び、決定 ボタンを押す

微調する場合

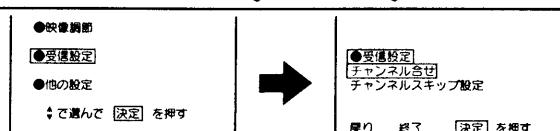
電波状態により同調を少しづらした方がよくなる場合には、チャンネルの同調を微調整します。

例) C35チャンネルを微調したいとき

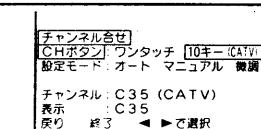
- 1** 微調したいチャンネル ボタンを押す



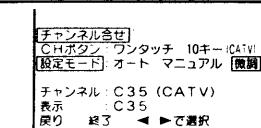
- 2** メニュー ボタンを押し、**△**で「受信設定」を選び、決定 ボタンを押す



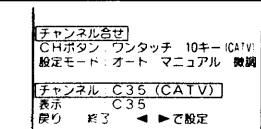
- 3** **△**で「チャンネル合せ」を選び、決定 ボタンを押す



- 4** **△**で「設定モード」を選び、**◀▶**で「微調」を選択する



- 5** **△**で「チャンネル」を選び、**◀▶**で「微調」する



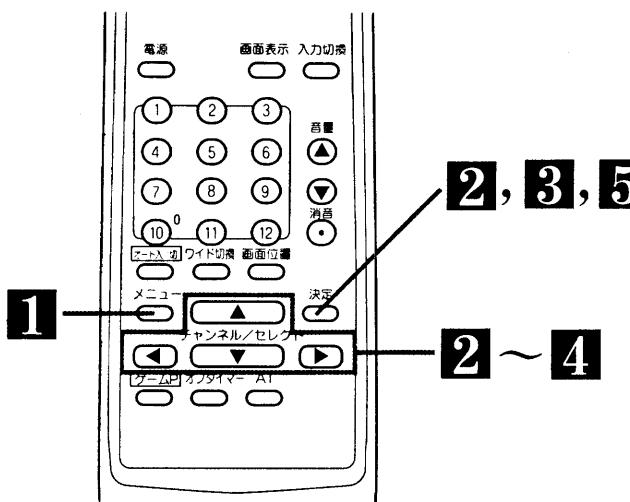
- 6** **◀▶**で「終了」を選び、決定 ボタンを押す

複数のチャンネルを変更する場合 **①~⑥** の操作をくり返します。

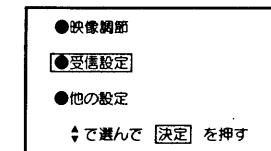
空きチャンネルの飛び越し選局

本体のチャンネルボタン、リモコンのチャンネル／セレクトボタンで選局するとき、空きチャンネルを自動的に飛び越し（スキップ）して早く選局できます。

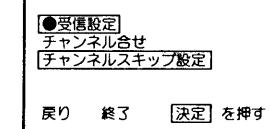
例) リモコンの「12」のチャンネルボタンを飛び越したいとき



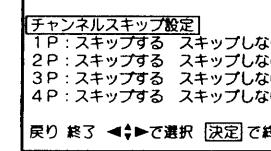
- 1** メニュー ボタンを押す



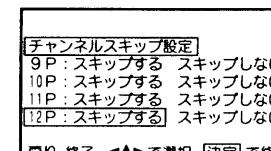
- 2** **△**で「受信設定」を選び、決定 ボタンを押す



- 3** **△**で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定 ボタンを押す



- 4** **△**で「12P」を選び、**◀▶**で「スキップする」を選択する



複数のチャンネルを飛び越しする場合

1 の操作をくり返します。

- 5** 決定 ボタンを押し、**◀▶**で「終了」を選び、決定 ボタンを押す

メモ 10キー モード時の空きチャンネルの飛び越し選局について

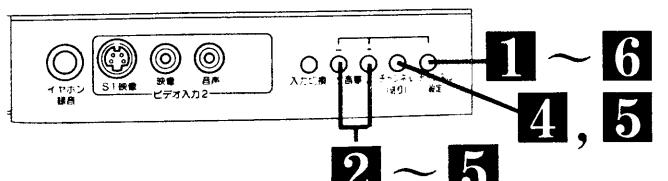
10キー モードを選んだ場合も、ワンタッチモードと同じように空きチャンネルの飛び越し選局を設定することができます。

工場出荷時、C13~C35チャンネルは、「スキップする」に設定されています。

受信設定について(つづき)

本体でのチャンネル設定

本体とびら内のチャンネル設定、チャンネル(送り)、音量▲(+), 音量▼(-)ボタンでも「チャンネル合わせ」の操作ができます。
+、-ボタンは音量ボタンと兼用です。



チャンネル合わせ
CHボタン: ワンタッチ 10キー CATV
設定モード: オート マニュアル 微調
ボタン番号: 5P
チャンネル: 5 (VHF)
表示: 5
音量ボタンで選択

1 チャンネル設定ボタンを押す

2 チャンネル設定ボタンで「CHボタン」を選び、音量(+、-)ボタンで「ワンタッチ」を選択する

チャンネル合わせ
CHボタン: ワンタッチ 10キー CATV
設定モード: オート マニュアル 微調
ボタン番号: 5P
チャンネル: 5 (VHF)
表示: 5
音量ボタンで選択

3 チャンネル設定ボタンで「設定モード」を選び、音量(+、-)ボタンで「オート」「マニュアル」「微調」を選択する

チャンネル合わせ
CHボタン: ワンタッチ 10キー CATV
設定モード: オート マニュアル 微調
ボタン番号: 5P
チャンネル: 5 (VHF)
表示: 5
音量ボタンで選択

4 チャンネル設定ボタンで「チャンネル」を選び、チャンネル(送り)ボタンで入れたいポジション番号を選び、音量(+、-)ボタンでチャンネルを設定する

チャンネル合わせ
CHボタン: ワンタッチ 10キー CATV
設定モード: オート マニュアル 微調
ボタン番号: 42P
チャンネル: 42 (UHF)
表示: 42
音量ボタンで番号を選び音量ボタンで設定

5 チャンネル設定ボタンで「表示」を選び、チャンネル(送り)ボタンで入れたいポジション番号を選び、音量(+、-)ボタンで表示番号を設定する

チャンネル合わせ
CHボタン: ワンタッチ 10キー CATV
設定モード: オート マニュアル 微調
ボタン番号: 42P
チャンネル: 42 (UHF)
表示: 42
音量ボタンで番号を選び音量ボタンで設定

6 チャンネル設定ボタン押す

メモ チャンネル設定について

本体でのチャンネル設定の場合、設定の途中でひとつ前にもどることができません。複数のチャンネルを変更したいときは、変更したいチャンネルをひとつずつ設定してください。

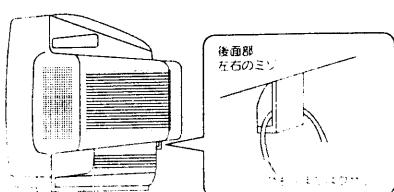
(ご注意) チャンネル設定ボタンについて

チャンネル設定ボタンは、通常はご使用いただく必要はありません。誤って押してしまった場合は、表示が消えるまで、数回ボタンを押すか、一旦電源を「切」にして、チャンネル設定モードを解除してください。

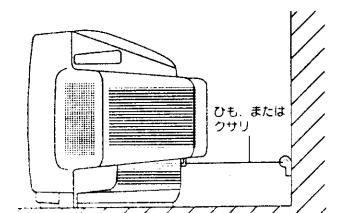
転倒防止について

△注意 ブラウン管(前面)は重いので安定したところに据え付けてください。また、転倒防止の処置を行ってください。テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

1 テレビを固定してご使用いただく場合には、図のようにセット後部のミソをご利用ください。



2 ひもまたはクサリ、および取付具については市販品をご利用いただき、確実に支持できる壁や柱などを選びになり、しっかりと固定してください。



3 専用のテレビ台(別売り)との固定は、テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

保証とアフターサービスについて

保証について

- この商品は保証書付きです。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
(ただし、ブラウン管のみは2年間です。)
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- 修理を依頼される前に、「故障かな?と思ったら」の項に基づいてお調べいただき、それでも具合の悪いときはご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

補修用性能部品の保有期間にについて

テレビの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

メモ CATV(ケーブルテレビ)について

CATVは、サービスの行われている地域でのみ受信できます。受信するには、CATV会社との加入手続きが必要です。また、スクランブル方式など有料のCATVの場合は、受信契約に加え、アダプターの使用が必要になります。詳しくは、CATV関係各社にお問い合わせください。

転居後のアフターサービスについて

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

故障かな?と思ったら

電源プラグがはずれていったり、アンテナ線がはずれていったりしているとテレビの故障とまちがえることがあります。販売店に連絡する前に下記のことを一応お確かめください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参考ページ
画面が出ない音も出ない	外部機器接続端子位置と入力切換ボタンの切換位置の不一致。	入力切換位置を合わせてください。	8
画面は出るが音が出ない	①音量調節が0になっている。 ②消音ボタンを押している。	①音量ボタン(▲)を押してみてください。 ②もう一度消音ボタンを押してみてください。	6 10
カラー番組のときに色が出ない	色の濃さの調節が-(淡)側いっぱいになっている。	映像調節で色の濃さを調節し、+にしてみてください。	18
画像が2重3重に映る(ゴースト)	近くに山や大きな建物、樹木がある場合、反射電波によって起こる。	①ビルが建つなど、周囲の状況についてお調べください。 ②アンテナの向きが正しくないかお調べください。	
雪が降っているような画面になりハッキリしない(スノーノイズ)	アンテナの向きが正しくないことなどが考えられます。	アンテナの向きが正しくないかお調べください。	
リモコンでテレビが操作できない	アンテナ線がはずれている。 ①リモコン送信機の乾電池の⊕が逆に入っている。 ②リモコン送信機の乾電池の寿命がなくなっている。	①乾電池を正しく入れてください。 ②乾電池を新しいものに交換してください。	24 3
画像に色ムラが出る	明るさの調節が+(明)側いっぱいになっている。	映像調節で明るさを調節し、-にしてみてください。	18
映像設定で明るさのみが設定できない	AIモードがナチュラルまたはゲームになっている。	他のAIモードに切り替えます。	17
「ビシッ」と音がする	冷暖房などの室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。 性能その他に影響はありません。	テレvisorの向きを変えると画面に色ムラが発生したり、傾きが大きくなる	
テレビの向きを変えると画面に色ムラが発生したり、傾きが大きくなる	テレvisorの向きを変えてご覧になった場合は、地磁気の影響を受けるため画面に色ムラが出たり、南北の向きでは傾きが大きくなる場合があります。(故障ではありません。) 電源を「切」にしてから、約1時間後にご覧になる向きで電源を「入」にしますと、自動消磁回路が働いて色ムラは軽減されます。		
電源を入れたときに「ブーン」と音がする	電源を「入」にしますと、自動消磁回路が働き、このときにブラウン管内部が振動するために発生する音です。 性能その他に影響はありません。		
ラジオに雜音がはいる	テレビの近くでラジオなどを使用しますと、雑音がはいる場合があります。 テレビより離してご使用ください。		

△注意 アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

ご参考